

過程	がくしゅうリーダー・せんせい	みんな	せんせい
資料（問題）の提示	■「ふりかえりぶつぶつタイムです。まず、ひとりでよんでください。そのあとペアでつたえあってください。」 ■「〇〇くん、△△さんのいったことをはっぴょうしてください。」 ■「せんせい、きょうのもんだいををおねがいします。」	■じぶんでノートをひらき、ふりかえりをこえをだしてよむ。」 ■おわたたら、ペアで「よろしくおながいします」とあいさつをして、みぎがわのひとからあいてにつたえる。 ■つたえあったことをはっぴょうをする ■もんだいをうつし、えんぴつでかこむ。	●振り返りの状況を注視する。 ☆2分以内が目安 ●問題の提示（資料や問題文を黒板に書く。）
問いをもつ・問いの共有	■もんだいをいっぶんかんみる。 ■もんだいをかくにんする。 ・「それでは、みんなでもんだいをよみましょう。」 ・「このもんだいで、わかっていることは、なにでしょうか。？」 ・「きかれていることは、・・・なにでしょうか。？」 ・「どのようにといていけばいいのか、しきやこたえをよそうしてください。」 ・「また、これまでのがくしゅうとのちがいについてもはっぴょうしてください。	■このもんだいをどのようにとくかどうかのよそうやかいいけつのみとおししをたてる。 ■ノートにもんだいをかいたあと、わかっていることに、あおせんをひく。」 ■「きかれていることには、あかせんをひく。」 ■どのようにとけばいいのかじぶんのかんがえをはっぴょうする。 ※がくしゅうのキーワードやきょうかようごなどをつかう。	●今日の課題や課題解決に迫っていけるよう視覚的な板書をする ●わかっていること、きかれていること、今日の学習のねらいにせまっているかなど、留意する。 ●これまでの学習のキーワードを必要に応じて適宜板書する。 ☆5分程度が目安 ☆タイムマネジメントに留意
課題の設定	■「きょうのかだいはなにがいいですか。」 ■「きょうのかだいをかいたひとから3かいよんだらすわりましょう。」 ■[みんなでかだいをよみましょう。] ■[グーパーかくにんをします。 グー：こまっている パー：じりきかいけつにいけそう ※[パーの人は、となりやこまっているひとにヒントをだしにいきましょう。] ■「きょうのの「シラバス」は、・・・です。」 ■「きょうのの「げんごわざ」は、・・・です。」 ■「せんせいは、まとめのかきだしをかいてください。」	■かだいをかんがえ、きまったかだいを ノートにかき 、あおえんぴつでかこむ。 ■かだいを3かいよむ。 ■じりきかいけつができるかどうかかくにんする。 ■まとめのかきだしをかく。	●児童・生徒の意見から、課題を設定させ板書をする。 ●グーがあまりにも多い場合は、再度の全体確認をリーダーに促す。 ●グーの児童・生徒を把握し、支援の方策を（友達支援、教員支援等・ヒントカード等）判断する ●シラバス、言語わざの提示 ●まとめの書き出しを書く
自力解決	■「ひとりまなびをはじめましょう。じかんは、〇ふんです。」 ■「いっぶんたちました。こまっているひとはかけたひとにききにいつてください。」「かけた人は、こまっているひとにおしえにいきましょう。」 ■「かいた人は、ひとりぶつぶつたいむをしてください。」	■ノートにじぶんのかんがえをかく。	●机間指導 ●聞きに行きやすいように、声をかける。
集団解決	■「ペアまなびをしましょう。」 ■「たち歩いておしえあいをしましょう。」 ■「はんまなびをしましょう。」 ■「まなびあいをしましょう。」 ■「では、こうさつをしましょう。ちがうてんやおなじてんをはっぴょうしましょう。」 ※いけんがでにくいばあいは、ペアではなしあいをする。 ■「せんせい、つけたしは、ありませんか。」	■よろしくおねがいします ■ともだちのノートをみてまわり、じぶんのノートにかきくわえる。 ■いちばん、しかい、みぎまわりですすめる。 ■あいさつをしてスタートし、せつめいをする。ともだちとおなじところ、にているところ、すこしにているがちがうところがある、わかりやすいなどをみつける。 ■ホワイトボードに、じぶんのかんがえをかく。ともだちといっしょでも、かならずぜんいんかく。 ■じぶんのまちがいにきがついたら、そのことをせつめいする。 ■リーダーのしじではっぴょうする。 ■まなびあったことをもとにきがついたことをはっぴょうする。	●班内での加除修正はOK。なぜ、そう気づいて修正したのかを言葉等で説明できるように支援する。 ●ホワイトボード等を準備する。 ●ホワイトボードには、全員に書かせる ●A：各班発表つなぎ ○B：黒板掲示→眺めて気づいた点等（同じ、似ている、相違点など）発表 ・状況に応じて、リーダーがA，B判断でいるように事前に確認しておく。 ●キーワードを貼ったり意見を板書したりする。 ●でにくいときこそチャンスでペアを仕組む。友達の考えを聞きたい場面である。 ●必要に応じて、修正等を行う。
（まとめ）価値の共有	■「では、がくしゅうのまとめをかいてください。かいた人は、ひとりぶつぶつタイムです」。 ■「まとめをペアではなしてください。■「まとめをはっぴょうしてください。」	■まとめをじぶんのことばでかき、よんでみる。あかえんぴつでかこむ。 ■かいたしたいことがあったら、かく。	●児童・生徒の言葉を使ってまとめる。
振り返り	■「ふりかえりをかきましょう。かいたひとは、ぶつぶつタイムです。」 ■「これで終わります。」	■①わかったこと ②ともだちからまなんだこと③もっとこんなことをしてみたいの3てんからかく。	●字数を指定する。
反省会ミニ授業	■「ミニはんせいかいをします。」 「むずかしかったことは、ありませんか。 「もっと べんきょうしたいことは ありませんか。」		